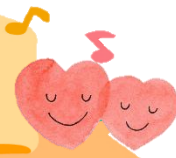


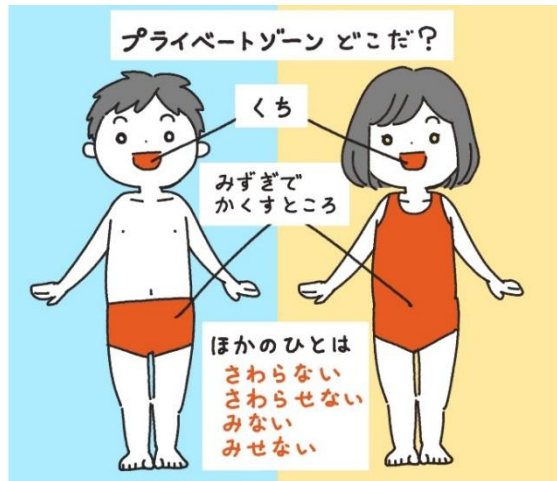
1・2年生性教育

『プライベートゾーン』について学習しました。



6月15日(げつ^{がつ}ようび^{にち})の5じかんめに、プライベートゾーンについてまなびました。

こうしの^{よしやまちほ}吉山千帆せんせいといっしょにまなぶことができましたね。みんなのからだ「て、あし、め、はな、くち、あし、て」すべてだいじなじぶんだけのたからものです。そのたからものをたいせつにするためのほうほうをまなびました。



プライベートゾーンは、「みずぎでかくれるところ+くち」です。おくちはとてもだいじなところです。おともだちに「ちゅー」をしてほしいといわれたらどうしますか? 「いや!」「やめて!」とおおきなこえでつたえましょう。からだがおとこのこだからかはんしんだけ、からだがおんなのこだからじょうはんしんもたいせつというわけではありません。だれであってもみられたくないとおもえばみずぎをきるすることができます。

プライベートゾーンはひとにみせたり、さわらせてはいけないだいじなばしょ

また、「おちんちん」と「おちよんちよん」のあらいかたをまなびましたね。「おちんちん」は、かわをのばしてあらう、あらうおわったあとにかわをもとにもどします。「おちよんちよん」は、かわがあるのでなかまできれいにしてゼリーをさわるようにあらいましょう。ぜひ、おうちにかえってじぶんであらってみましょう。

～かんそう～

1年生

おがわいちさん

ぷらいべーとぞんをまもらないといけないなとおもいました。

2年生

こだまたけひろさん

ばいきんをだすばしょが、おんなのこは3つあり、おとこのこは2つであることをしりました。



^{よしやまちほ}吉山千帆せんせいより

みんなめをきらきらしながらおはなしをきいてくれたね。

これでもう、プライベートゾーンマスターだ!じぶんのからだはじぶんだけのもの。

おうちでは きょうだいにがっこうでは おにいさん おねえさんたちにたくさん おしえてあげてね!

保護者の皆様へ

梅雨の時期にはいりましたが、保健室にいると教室から子どもたちの笑い声が聞こえてきます。いつもご家庭での見守りありがとうございます。子どもたちは今回の授業を楽しく、また真剣に学ぶことができました。さらに、「おしえてくもくん」という絵本を読み、自分だけではなく周りの友達の身体も大切にすることを学びました。世界には人それぞれの個性があり、自分の生まれてきた性と生きていく性が違うこともあります。そんな中で、自分自身だけではなく周りの人のことも宝物のように大切にしてほしいと思います。ぜひ「授業でなにを学んだのか」おうちで聞いてみてあげて欲しいと思います。

こんな場面みたことはありませんか？

子どもの遊びの中で、

- ・自分や友だちのパンツをおろす
- ・スカートめくりをする
- ・勝手に友達に抱きつく
- ・キスをする

という場面を見たことはないでしょうか。



このような場面を見かけたときに、「まだ子どもだから」と、微笑ましく見ているかたもいるかもしれません。でも、そんな時こそ、プライベートゾーンについて一度立ち止まって教えてあげてほしいと思います。

プライベートゾーンの知識は「自分を守る力」になります

性被害の実態

現在日本では、内閣府の調査の結果によると女性の13人に1人が性被害に遭っていると言われています。プライベートゾーンの知識のない子どもは、抵抗することや相談ができず、被害に気づくまで何年も経ってしまうことがあります。また、正しい知識をもっていないまま成長してしまうと、知らず知らずの内に加害者になっていることもあります。そのようなことにならないよう近くにいる大人が正しい知識を伝え、教える役割を担うことが大事なのではないでしょうか。

思春期相談員の吉山千帆先生より

性教育と聞くと、どこか恥ずかしい、タブーなものと感じていませんか？それもそのはず、私たち大人は正しい性教育を学んできていないからです。今回1,2年生に性器の洗い方を中心に、プライベートゾーンを通して自分を大切にすることをお話しさせていただきました。

昨年から、白川保育園でも年3回に分けて、性教育をさせていただいています。子どもたちはプライベートゾーンについては完璧です！あとは、私たち大人が共に学びながら深めていただき、日常生活に落とし込んで活用していただきたいと思っています。「プライベートゾーンってどこ？どんな場所？」と聞いてみてください。お風呂上がりに、全裸で出てくるような姿があれば、「プライベートゾーン守ろうね」と伝えてみてください。性という字は「心が生きる」と書きます。今自分がいること、我が子がいることは当たり前ではありません。

私たちの人生も、子どもたちの人生も、よりキラキラ輝くために是非、親子で共に性について話す時間を増やしてみてください。それが、性の被害者・加害者・傍観者にならないことにも繋がるのです。

授業後の休み時間に、2年生の田島明歩さんと谷藤未理乃さんが「おしえてくもくん」の本を読みに来てくれました。

